

4

ひ さい ご 被災後に備える

〜び ち く備蓄と非常持ち出し品〜

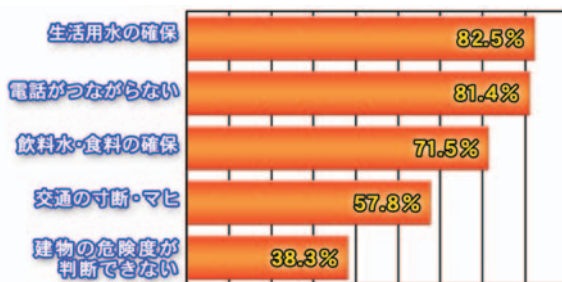


ライフラインが止まってしまう！



ふだん、あたり前に使っている水道、電気、ガス、電話などは、「ライフライン」といって、私たちの生活につながっているととても大切なもの。でも、大きな災害が起こると、それらが止まってしまって使えなくなります。そうなったとき、あなたはどうしますか？ちゃんと備えはしていますか？

地震のあと、一番困ったことは？



阪神・淡路大震災後のアンケートでは、一番困ったことは生活で使う「水」の不足でした。1人に必要な1日の飲み水は3リットルといわれています。このほかに、お風呂や洗たく、トイレの水が不足しました。そのため、トイレは9割が使えなくなりました。



家族はみんな大丈夫？



地震が起こったとき、家族がみんないっしょにいるとはかぎりません。地震のあと2番目に多かった困りごとは、家族などと電話が繋がらなかったことです。そんなときのために、「災害用伝言ダイヤル1711」の使い方をおぼえておきましょう。

キーボード

〜う れ備えあれば憂いなし〜

避難するとき、すぐに持ち出すことのできる「非常持ち出し品」や、ライフラインが止まったときに備えて、水・食料などを蓄えておく「備蓄品」の準備をしておきましょう。



県や市町村も災害に備えて準備しているけど、自分たちの生活は自分たちで守らないとね。



DVDでは、きちんと災害に備えている人を紹介しているよ。私たちも、いざというとき何が必要か家族で話し合おう。

